

## オレゴン州：小麦作柄と気象状況 2011年11月20日現在

**概況** オレゴン州の2011年11月20日に終わる1週間の気象は、降雨と降雪を伴う低温気象であった。Willamette Valleyの1週間の降水量（降雨のみ）は1.45～1.54インチであった。山麓部では4インチ以上となった。最高気温は50～54度Fであり、平均気温は平年を2～5度F下回った。NC地区では降雪となり、1週間の降水量（降雨と降雪）は0.24～0.64インチであった。山岳部では2.30インチを記録した。1週間の州平均農作業稼働日数は3.8日（前週：5.7日）であった。Topsoil及びSubsoilの土壌水分は、前週より“Surplus”が増え、“Adequate”が減少した。2012年産冬小麦は全州の圃場の83%にて出芽した。出芽は昨年より大分遅れていた。Willamette Valleyでは冬小麦圃場にて除草剤が散布された。Sherman郡では低温の為冬小麦の出芽と生育が遅れていたが、降雨と降雪より土壌水分が改善し、作柄が改善した。Umatilla郡の冬小麦は播種が概ね完了し、出芽は順調であった。同郡の海拔の高い地区では降雪となり、播種が中断していた。冬小麦の作柄は前週より“Fair”と“Excellent”の評価が増えた。

2011年11月20日現在：土壌水分(\*)

		(%)	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	This week		6	7	73	14
	Last week		6	14	78	2
Subsoil	This week		8	16	73	3
	Last week		10	16	74	0

2011年11月20日現在：冬小麦の生育状況(\*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr. Average
Emerged	83	73	94	83

2011年11月20日現在：冬小麦の作柄状況(\*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	0	4	33	50	13
Last week	0	3	30	65	2
Last year	0	5	29	60	2

\*) Source: National Agricultural Statistic Service, USDA-Oregon Field Office. 5-yr average means average of 2006,2007,2008,2009 and 2010 crop years

以上